

第3回上尾市総合計画審議会における質疑等に対する回答一覧

令和2年11月行政経営課作成

No.	委員からの質問内容	該当分野	回答	
1	施策1生涯学習の促進 「教育機関・民間企業等と連携・協働して、より高度化・専門化した学習機会を提供します。」とありますが、高度化・専門化した学習は、教育機関・民間企業に委ねればよいのではないのでしょうか。行政資源の有限性から、生涯学習に対する市の役割は限定的でも良いのではないのでしょうか。	施策2-2 学び・創造	「高度化・専門化した学習」の文言については削除し、「教育機関・民間企業等と連携・協働した学習機会を提供します。」に修正	平会長
2	テーマをめぐる社会的状況 『「自助」「共助」「公助」の理念』とありますが、これらは理念ではなく別の用語・表現を用いた方が良いと思います。	施策5-1 防災	「理念を踏まえた」⇒ 「意識をもって」に修正	平会長
3	<地域防災力> 「市では、住宅都市という地域特性から、昼間人口の減少が顕著であり」→「市では、住宅都市という地域特性から、昼間の人口は夜間に比べて大幅に少なく」	施策5-1 防災	「昼間人口の減少が顕著であり」⇒ 「昼間の人口は夜間に比べて大幅に少なく」に修正	平会長
4	施策2防災体制の強化の取組の方向性で、担当部署が示されていない箇所があります。	施策5-1 防災	担当部署は、「危機管理防災課」となりますことから、加筆いたします。	平会長
5	施策1防犯活動の推進 「有害な情報や環境などから青少年を見守る活動を実施」→「有害な情報や環境などから青少年を守る活動を実施」	施策5-2 防犯	「見守る」⇒ 「守る」に修正	平会長
6	テーマをめぐる社会的な状況 「少子高齢化と人口減少が進む中、鉄道やバスといった公共交通は、人々の生活に不可欠な移動手段となっています。」とありますが、人口減少に関係なく、公共交通は不可欠だと思います。ただし、高齢化に伴い運転免許を返納する人が増えますので、高齢者にとって公共交通は不可欠と言えます。	施策5-3 交通	「公共交通は、人々の生活に不可欠な移動手段です。また、今後、高齢化が進む中で運転免許返納者の増加することが想定されることから、更なる利便性の向上とともに路線の維持が課題となっています。」に修正	平会長
7	<救急体制> 「誰もが使用できるよう環境づくりを進めていきます。」は、現況と課題に合った表現に修正する必要があります。	施策5-4 消防	「誰もが使用できる環境づくりが必要となっています。」に修正いたします。	平会長
8	住環境のテーマをめぐる社会的な状況と現況と課題、取組の方向との関係が必ずしも明確ではありません。持続可能性という観点からは、団地の建替えという課題があると思います。	施策6-1 住環境	「テーマをめぐる社会的な状況」の文末に記載されていた『空き家』に関する記述を削除しました。 また、団地の建替えについての課題については、「現況と課題」箇所に『老朽化し高齢世帯が多く入る大規模団地においては、耐震化やバリアフリー化のほか、若者など呼び込む対策など、団地の再生が求められています。』を追記し、「取組の方向」箇所に『大規模な住宅団地の再生の取組みについては、県や関係事業者と連携し、協力体制を図ります。』を追記します。	平会長
9	施策1ごみの減量化促進と適正なごみ処理 プラスチックごみの問題が世界的に注目されており、少なくとも、市民に対する啓発活動が必要と思います。	施策6-2 環境	「現況と課題」に 「プラスチックごみについては地球環境に影響を与えることから、市民に意識啓発を図り、使用量の削減を行う必要があります。」を追記します。	平会長

No.	委員からの質問内容	該当分野	回答	
10	「持続可能な行政経営」⇒「持続可能な都市経営」	施策大項目8	資料2に記載の大項目名が修正されておりませんでしたので、修正いたします。	平会長
11	施策3河川の適切な整備と維持管理「国・県が管理する河川については、計画的な整備を促進していきます」の主語を明確にする必要があると思います。主語が上尾市であるならば、言葉を補ってわかりやすくする必要があります。	施策6-3 道路・河川	「計画的な整備を促進していきます」⇒ 「計画的な整備を要望していきます」に修正	平会長
12	施策2広聴活動公聴活動として、公聴会やタウンミーティングなど直接市民の声を聴くしくみづくりを期待したいと思います。	施策8-1 情報発信・公開	担当部署にご意見をお伝えいたします。	平会長
13	《土地利用状況》 「都市のスポンジ化が懸念され、インフラの老朽化が進む中、コンパクトシティの考えに基づいて都市機能を集約し、住民の利便性向上や効率的な維持管理を図ることが必要です。そのためには、上尾市都市計画マスタープランで定められた土地利用の実現を目指し、建築物の建築等を用途地域に沿って適切に誘導することが必要です。」とありますが、都市機能を集約すると、距離が遠くなることにより、必ず一部の市民の利便性が低下します。また、前半と後半の関係がよくわかりません。	施策8-5 土地利用	「都市のスポンジ化が懸念され、インフラの老朽化が進む中、住民の利便性向上や効率的な維持管理を図るため、都市機能及び住居等を拠点にまとめるとともに、自宅から拠点までのアクセスをし易くするなどの対策が必要で す。」に修正し、 後段の「そのためには、上尾市都市計画マスタープランで定められた土地利用の実現を目指し、建築物の建築等を用途地域に沿って適切に誘導することが必要です。」については、削除します。	平会長
14	コロナ禍により、総合計画策定は、背景ではなく事業レベルから変化が生じる可能性が高い。企業や税収への影響も現状追い切れない上、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略も方向性修正の可能性もある。感染症対策のKPIとして、3密を避けることのできる避難所数等も盛り込む必要が考えられるが、そのためのエビデンスも出そろってはいない状態であり、策定スケジュールを見直すべきとの意見が他市の議員と連携を図る中で出てきた。「半年から1年程度先送りとすべきでは？」と本市に質問したところ、議会答弁で「コロナ影響により、スケジュールや盛り込むべき内容の見直しの必要性を認識している。これまでになかった今回のコロナウイルス感染症への対応を通して得た経験などを施策にどう反映させるか、今後、審議会等に諮り、検討したい。策定期限は、当初12月の完成を予定していたが、スケジュールや内容の見直しなどに時間を要することから、柔軟に対応したい」との事であった。策定期限の変更および施策への反映について見解を伺う。また、策定期限を延期する事には、副次的効果として本審議会において全体像を練り直す時間を得るメリット等もあると思われるが、一方で計画の実施時期が遅れた場合、問題は何か考えられるか。	全般	策定期限の変更および施策への反映については、現段階で国等が示している新型コロナウイルス感染症に関する各種方針を踏まえ、可能な限り総合計画の内容に反映させている最中です。 策定期限は、現段階では当初の予定のまま進めていきたいと考えております。 また、計画の策定期限を延期した場合、想定される問題としては、年度内に策定できれば大きな問題点はございませんが、年度をまたいで延期となると、印刷費用等の契約の問題のほか、同時期に策定される他の分野別計画にも影響がでることがあると思われます。	尾花委員
15	都心に1時間で通えるエリアの居住需要がやや変化しており、民間データによると今年1月と5月での検索数が上がった地区ランキングで本市は中古マンションが全都道府県で16位（124.3%）。「地域の社会経済構造そのものを感染症リスクに対しても強靱なものへと改革する」ことを推進する観点から、「地域未来構想20」が内閣府から示されているが、近郊外の価値が再考されている現状において、内閣府が想定している20の政策テーマを改めて反映する考えはあるか？	全般	今回の総合計画には、新型コロナウイルス感染症を受け「新しい生活様式」など国の指針を基に、現段階で可能な限り反映させているところです。 「地域未来構想20」についても、反映できるものは反映していきたいと考えております。	尾花委員
16	防災面での「地域の共助体制づくり」は大切な視点ですが地域特性によってアプローチが違ってくると思います。戸建て地域集合住宅タワマン上尾市では自主防災組織は自治会対象なのでしょうか。マンションの場合必ずしも自治会の組織がない場合もあり「運命共同体」としては管理組合と行政がつながるほうが自然の場合もあります。	施策5-1 防災	本市の自主防災会は、市内117の自主防災会があり、大型マンションの場合は、マンション毎に自主防災組織を立ち上げております。	土橋委員

No.	委員からの質問内容	該当分野	回答	
17	市民向けの「オープンデータ提供」の促進を図るべきだと思います。提供する体制を市独自で運営するのは大変であり、現在のように県のサイトと連動してのシステムで問題はないと思います。しかし利用促進の啓発については、市独自の活動があっても良いと思います。 例) 地域の世帯統計情報を美容院がチラシ・SNS企画の参考にする。	施策8-1 情報発信・公開	オープンデータにおける内容については、施策8-1-1「情報の発信・公開」箇所に『 行政が保有するデータを社会において効果的に活用できるように努めます。』を追記します。	土橋委員
18	フォーマットを統一しては？ 現況を簡潔に記載したほうが解り易いと思います。 課題については、「…必要があります」「…ことも重要です」「…対策が求められます」「…が課題となっています」等の記載が有るので、何が解決すべき課題なのかが不明瞭だと感じます。フォーマットを統一することにより、読者が理解し易くなるのではないかと思います。	全般	フォーマットの統一を行います。	細野委員
19	現況と課題を分けて簡潔に記載したほうが良いのでは？	全般	内容を整理し調整いたします。	細野委員
20	「取組の方向」と「主な事業・取組」との階層の違いを説明して下さい	全般	参考資料1のように完成版としては、資料2にある「取組の方向」を基に、大枠としての「取組みの方向」とそれに向けて実施する「主な事業・取組」とに階層を分けて記載していきたいと考えております。	細野委員
21	施策2 文化・芸術活動の支援 2項目しかないが、上尾市は図書館サービス計画も持ち、今後、上平に分館も計画中である。本館と分館の充実を進めるためにも、図書館は生涯学習のくくりではなく、一つ中項目として立てることは可能でしょうか？	施策2-2 学び・創造	項目立てしているのは、あくまでも施策レベルであり、他の項目とのバランス、統一感も考え、現状のままとさせていただきたいと思います。	平田委員
22	大項目5. 安全な暮らしを守るまちづくり 1.防災2.防犯、3交通4.消防の順番ですが、1と4は、密接に関係しているので、防災、消防、防犯、交通の並びがいいのではないのでしょうか？	施策大項目5	施策の順番については、新型コロナウイルス感染症の影響により、変更等があるかもしれませんので、頂戴したご意見も参考に、調整してまいります。	平田委員
23	施策3 地球温暖化対策等の推進 SDGsから考えると「地球温暖化対策等の推進」は、温暖化だけではないので「地球環境の保全」にしてはいかがでしょうか？	施策6-2 環境	「地球環境の保全」の取組みの一つとして、「地球温暖化対策」が挙げられますが、海や山などがない本市としては「地球温暖化対策」が直接的に関係してくる事項であることから、その言葉を出すことで明確化した方が良いでしょう。	平田委員
24	施策1 道路の適切な維持管理 道路の適切な維持管理、道路の計画的な整備は、ハード面のみです。安全で快適な道という観点が必要ではないか。事故が多い上尾市であり、人と環境にやさしい道路の視点がほしいと考えますが、いかがでしょうか？	施策6-3 道路・河川	施策6-3「道路・河川」には、「テーマをめぐる社会的な状況」において、「安全性や快適性に配慮した整備」を掲げており、また、施策2「道路の計画的な整備」の4つ目のボツ箇所に「バリアフリー化の推進」を記載しております。 また、交通安全としては、別途、施策5-3「交通」箇所に記載しているところです。	平田委員
25	施策1 地域防災力の向上 1番目の● 市民の防災行動力の向上や防災知識の獲得 ⇒防災知識の獲得や市民の防災行動力の向上 (知識を得て、行動するという方が自然な流れ)	施策5-1 防災	ご指摘いただきましたご意見を踏まえ、「防災知識の取得や市民の防災行動力の向上」に修正いたします。	平会長
26	施策1 地域防災力の向上 3番目の● 地震や風水害等への家庭における備えや住宅の耐震化など、防災意識の向上を図ります。 ⇒防災意識の向上を図り、地震や風水害等への家庭における備えや住宅の耐震化などを推進します。(最終的に、具体的な行動をしてもらうことが重要)	施策5-1 防災	ご指摘いただきました内容に修正いたします。	平会長

No.	委員からの質問内容	該当分野	回答	
27	《災害に強いまちづくり》と施策4 減災対策の推進 「オープンスペースの保全」が課題で、施策として「オープンスペースの確保」は、論理的ではありません（確保しないと保全ができないため）。	施策5-1 防災	『現況と課題』箇所を 「災害時のインフラの復旧や防災上有効な空地となる公園などのオープンスペースの確保などが課題です。」に修正し、 『取組の方向』箇所を 「また、市外地内の緑化、オープンスペースを維持・保全するとともに有効な空間の確保に努めます。」に修正します。	平会長
28	施策1 交通手段・自転車施策の充実 施策のタイトルが「施策の充実」というのは違和感があります。	施策5-3 交通	『交通手段の充実・自転車施策の推進』に修正します。	平会長
29	施策1 交通手段・自転車施策の充実 2番目の● 放置自転車対策や自転車駐車場の整備を行います ⇒自転車駐車場の整備など、放置自転車対策を行います （自転車駐車場の整備は、放置自転車対策の一つ）	施策5-3 交通	ご指摘いただきました内容に改めます。	平会長
30	施策3 衛生的な生活環境の維持 環境基本法では、公害を「水質・大気・土壌・地盤沈下・騒音・振動・悪臭」としており、「等」はついていません。1番目の●の「等」は何ですか？	施策6-1 住環境	典型7公害(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)以外に、「廃棄物」、「土砂等のたい積」、「光害」に関する苦情に対応していることから、「等」としているところです。	平会長
31	施策1 経営的な行政運営 エビデンスに基づいた行政評価制度により事業の効果を判定し、選択と集中、改善を徹底することにより、PDCA サイクルマネジメントを強化します。（PDCAという手段が目標になっています） ⇒PDCA サイクルマネジメントを強化し、エビデンスに基づいた行政評価制度により事業の効果を判定し、選択と集中、改善を徹底します。	施策8-2 行政運営	ご指摘いただきました内容に改めます。	平会長
32	《市民サービスの向上》 信頼を得る⇒信頼を高める （「得る」というと、現状では信頼されていないということになってしまうため）	施策8-2 行政運営	ご指摘いただきました内容に改めます。	平会長
33	《住民主体のまちづくり》 「空き家の増加は、景観・治安の悪化や、災害時のリスク増加にもつながるため、地域住民の協力を得ながら、適切に管理していく必要があります。」とは、地域住民に無償か有償で、空き家の管理をしてもらうということですか？管理は、本来、所有者の責任です。	施策8-4 協働	2つ目の●の「空き家の増加は・・・」の箇所については、ご指摘のとおり、空き家の管理は所有者の責任であることから、内容としてふさわしくないため削除いたします。 ⇒施策8-4-1『協働のまちづくりの推進』については、全般的に見直しを行い調整いたします。	平会長
34	施策1 協働のまちづくりの推進 この「まちづくり」は、「住環境」の「街づくり」とは異なり、ソフトな地域活動中心に記述すべきであり、協働推進課が担当している、参加や協働の推進を記述すべきだと思います。	施策8-4 協働	施策8-4-1『協働のまちづくりの推進』については、全般的に見直しを行いました。	平会長
35	全体的に、「現状と課題」の記述が施策の必要性となっており、その結果、取組の方向が、繰り返しに近い内容になっています。例えば、p9の「整備を凍結とした戸崎公園北側 1.8 ヘクタールの公園用地について、今後の整備方針が課題となっています」は、「戸崎公園北側 1.8 ヘクタールの公園用地は整備が凍結されています」で十分ではないでしょうか。	全般	全体的に見直しを行います。	平会長
36	施策1 交通手段・自転車施策の充実 公共交通の更なる利便性の向上とあるが「ぐるっとくん」のみについてしか記述がされておらず、昨今話題を集めているデマンド交通についても触れる必要があると思うが見解は	施策5-3 交通	デマンド交通については、本市においては、まだ導入するほどではなく今後のことを見据え調査研究を進める段階であると考えておりますが、3つ目の項目において、「公共交通ネットワークとサービスの維持・充実を目指します。」の内容には、デマンド交通についても含まれてくるものと考えています。	荒川委員

No.	委員からの質問内容	該当分野	回答	
37	施策3 合理的な組織運営 定員適正化はどのような基準で定めているのか。国からの通達などはあるのか	施策8-2 行政運営	国の定員モデルや類似団体職員数の状況を踏まえ、上尾市定員管理計画に則り、決めています。	荒川委員
38	施策3 合理的な組織運営 人材の育成に当たり「人事評価制度の活用」とあるが、この評価制度はどんな項目で誰が誰を評価し、何に反映されているのか（昇格、ボーナス）	施策8-2 行政運営	能力意欲評価と実績評価の2つの側面から評価を行っています。評価者は一次評価者は直近の上司となり、二次評価者はその上の上司となります。評価結果については、昇任に活用しております。	荒川委員
39	施策3 合理的な組織運営 一つ目と二つ目の文は第5次総合計画（後期）の文と一字一句変わらないが、過去5年の評価はどうなっているか	施策8-2 行政運営	定員管理や人材育成においては、それぞれ定員管理計画や人材育成基本方針に基づき長期的かつ継続的に実施していく内容となるため、基本的に前回の取組みを踏襲することで考えております。	荒川委員
40	施策3 合理的な組織運営 議員と職員が関与する不正が横行したが、人材育成の観点からみれば、もう少し踏み込んだ文が良いのではないか	施策8-2 行政運営	3つ目の項目に『職員のコンプライアンスの徹底』と記載していることから、現状のままとさせていただければと思います。	荒川委員
41	施策3 合理的な組織運営 市民が輝く街はもちろん第一ではあるが、職員も誇りをもって仕事ができるような文言があるといいのでは	施策8-2 行政運営	2つ目の項目に『職員一人一人の能力と意欲を向上させるなど、…』と記載していることから、現状の記載のままとさせていただければと思います。	荒川委員
42	施策3 合理的な組織運営 併せて人材の採用についても優秀な人材が集まるような文言は入れられないか	施策8-2 行政運営	優秀な人材を採用する事は重要ですが、採用した人材を育てることも重要なことと考えます。そのため、現在の記載のままとさせていただきます。	荒川委員
43	現況と課題「防災体制」の2行目目に 「女性や子育て世代、外国人、高齢者等の視点を含め、」のところに「子どもあるいは乳幼児」と入れていただくことは難しいでしょうか。 災害の際に一番被害を受けるのは乳幼児です。液体ミルクの補充などの備蓄や、授乳をする女性のための避難所でのプライバシー確保は非常に重要かと思います。子育て世代と書いてありますが、子どもからの視点の書き方ではなかったもので、少し気になりました。	施策5-1 防災	「子どもや乳幼児の視点」については、子育て世代の視点に包含しており、液体ミルクの備蓄や授乳のためのスペース確保などは実施しているところであります。 また、「・・・高齢者等」ということで、その他の視点も含みを持たせておりますことから、現状の記載のとおりしたいと思います。	村松委員
44	〈テーマをめぐる社会的な状況〉 防犯の部分でも、子どもの視点が抜けているように感じました。 例えば、「近年はインターネットを介した犯罪や高齢者を狙った特殊詐欺などが目立っており対策が求められています。」 となっていますが、児童に対するSNSを通じた性被害や、シッターや養護者（保育園の先生・学童教員）などが子供たちに危害を加える事例も増えていると思います。そういった取り組みについて記載をしてもらいたいです。	施策5-2 防犯	「児童に対するSNSを通じた性被害への取り組み」については、「地域や青少年育成団体などとの連携により、有害な情報や環境などから青少年を守る活動を実施します」に含まれると考えております。 シッターや養護者などが子供たちに危害を加える件については、例えば、児童虐待としての視点では、施策1-1-6「児童虐待の防止」に記載しております。	村松委員